



済美

学校の教育目標

心身ともに健康で、個性豊かに
自ら学ぶ子供を育てる

やる気を高める「魔法の言葉」

教頭 松嶋 隆徳

今月、ペア学年（1・6年、2・5年、3・4年）ごとになわ跳び大会を行いました。上の学年が下の学年の跳んだ回数を数えるだけでなく、手本を示しました。上の学年の跳び方を見ることで、「こんな難しい種目を跳んですごい！」「あんなふうに速く跳べるようになりたい」等、憧れの気持ちや願いを抱いたことでしょう。実際、学年が1つしか離れていない3・4年でも、4年生の跳ぶ速さは3年生の比ではありませんでした。2学期後半からの「GO!GO!つばきッズ」の時間では、全校で



なわ跳び運動を行い、自分が挑戦している種目を互いに見合い、なわ跳びカードに記録してきました。その練習の成果をいかに発揮できたことと思います。

さて、「なわ跳び」と聞くと思い出すことがあります。私事で恐縮ですが、息子のことです。息子はなわ跳びが大の苦手でした。同級生が前跳びがどんどんできるようになる中、息子は全く跳べませんでした。跳ぶタイミングと縄を回すタイミングが合わないのです。プライドの高い息子は、周りに前跳びができない自分を見せたくないのに練習もしないという悪循環に陥りました。苦手なことを練習させることの難しさを感じました。結果、前跳びができるようになったのは、同級生よりかなり遅くなってしまいました。

なわ跳びだけでなく、「練習をすること」は物事を達成するために、もしくは上達するためにとても重要です。運動でも勉強でも、その鍵となるのが「記憶」です。「手続き記憶」は、何度も失敗を繰り返しながら練習するうちに正しい動きを学び、覚えていく記憶です。こうして体で覚えた記憶は消えることなく、いつまでも私たちの脳に刻み込まれます。（なわ跳びのほか、自転車の乗り方や泳ぎ方等）また、「意味記憶」は、言葉やイメージで表すことができる記憶で、学習による知識に関する記憶です。新しい漢字や計算の仕方を覚えることがこれに当たります。しかし、この記憶は「手続き記憶」とは違い、一度覚えてもすぐに忘れてしまうのです。だから、繰り返し「練習をすること」（反復練習）が必要になってきます。

これまで、「記憶」のシステムや「練習をすること」の大切さを述べてきました。実は地味な練習やあまりおもしろくない練習こそ大切な練習で、それを継続することは容易ではありません。「いいよ、できているよ」「こんなに上手な子はなかなかいないよ」「こうすればもっとよくなるよ」といった賞賛や励まし、助言等の肯定的な言葉は、やる気を高める「魔法の言葉」です。一方、「まじめにやれ」「集中しろ」「だからお前はだめなんだ」といった命令口調の要求や人物否定等の否定的な言葉ではやる気を失います。私も子供たちへの適切な言葉がけに日々悩んでいます。ご家庭でもこれまでの言葉がけについて振り返ってみてください。お子さんにとっての「魔法の言葉」は何でしょうか？

1・2月の行事から

●5・6年校内スキー学習会<1月25日(木)>

5・6年生の校内スキー学習会を糸魚川シーサイドバレースキー場で行いました。指導はスキー学校のインストラクターにお願いしました。

当日、午前は吹雪となり、真冬の厳しさを体感しました。そんななかでも子供たちは、体に吹き付ける雪に負けず、意欲的に練習に取り組んでいました。そして、雪やスキーに慣れ親しむことができました。この日は本校以外に1校しかスキー学習を行っている学校はなく、ゲレンデを広々と使って学習することができました。今回はスキーの経験がない児童がたくさんいましたが、児童の経験に応じた指導により、どの子供もスキーを楽しみ、技能が随分上達しました。

5・6年保護者の皆様には、事前の調査や当日に向けての準備等でご協力をいただき、ありがとうございました。



●3年薬物乱用防止教室<1月31日(水)>

学校薬剤師の阿部慎一先生をお招きし、6年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。薬物乱用の危険性について正しく理解することが必要であること、自分の心や体を守るために誘いをきっぱりと断る勇気をもつこと等を学びました。



●豆つまみ大会<1月31日(水)>

給食委員会が中心となり、豆つまみ大会を行いました。エントリーした子供たちで競い合いました。豆つまみ大会とは、30秒でどれだけの豆を箸でつまめるかを競う大会です。皿から皿へ1粒ずつつまんで移します。正しい箸の持ち方をしていないと、うまくつまめなかったり、途中で落ちてしまったりします。豆つまみに集中するため、30秒間は応援も

なく、静かな時が流れていました。これまでの練習の成果を発揮して、たくさん豆をつまんでいる子もいました。今後も正しい箸の持ち方を意識して、食事をするようにしてほしいです。



●避難訓練(地震・津波想定)＜2月2日(金)＞

1月に起きた能登半島地震をふまえて、今回は休み時間に起こったことを想定し、先生の指示がなくても安全な避難行動をとることをねらいとしました。

最初の地震発生放送で机の下、もしくは窓ガラスや壁から離れた場所で頭を守る行動をとりました。次の大津波警報発令放送で3階に避難し、最後に人数確認を行いました。どの学年も緊張感をもち、正しい避難行動をとることができました。

今年度の避難訓練はこれが最後でしたが、どんな状況でもいざというときに冷静に判断し、安全に避難ができるようになってほしいです。



●1年三世代交流学習＜2月7日(水)＞

2月7日(水)に学習参観、学級懇談会を実施しました。たくさんの保護者の皆様にご参加いただきました。どうもありがとうございました。

この日は、慶寿会の方々にお越しいただき、参観の保護者と三世代で昔から伝わる遊びを行いました。こま、めんこ、だるま落とし、あやとり、おはじき、けん玉に取り組みました。これまで経験のない遊びもありましたが、慶寿会の方々から教わり、苦戦しながらも楽しむ姿が見られました。皆さん、笑顔で昔から伝わる遊びに親しむことができました。



新吉田踏切供用開始のお知らせ

28日(水)10時から現吉田踏切が供用廃止となり、同16時から新吉田踏切が供用開始となります。そのため、飛驒地区児童の当日の下校はいずれの踏切も渡ることができないため、飛驒踏切を渡るルートで下校となります。(教職員が付き添い下校します)そして29日(木)からは、登校時に新吉田踏切を渡るルートに通学路が変更になります。

また、29日(木)から六天・出島地区児童の登校時の通学路が、吉田川沿いを通して現吉田踏切を渡るルートから飯沢踏切を渡るルートに変更になります。

学校では、飛驒・六天・出島地区児童をはじめ、全校児童に踏切が切り替わることや踏切を渡る際の注意等について安全指導を行いました。

<3月の行事予定>

- 1日(金)交通安全の日
生活アンケート週間(～6日)
PTA新旧合同役員会 19:00
※防パト隊(吉田・大開・荒俣・飛驒)
- 4日(月)玉椿集会・授賞集会、委員会活動、学校集金(3月分調整額)
※防パト隊(出島・六天・飯沢)
- 6日(水)登校班チェック、サケの稚魚放流
- 8日(金)※防パト隊(吉田・大開・荒俣・飛驒)
- 11日(月)全校5限まで14:40下校
廊下ワックス塗布
※防パト隊(出島・六天・飯沢)
- 12日(火)卒業祝品授与式、卒業式予行
- 13日(水)地区児童会、集団付き添い下校14:40
- 14日(木)卒業証書授与式前日準備(4、5年)
1～3年、6年下校14:00 4、5年下校15:00
玉椿新聞発刊
- 15日(金)卒業証書授与式 11:40下校
交通安全の日
- 18日(月)全校5限まで14:40下校
サケ飼育報告会(4、5年)
- 19日(火)全校5限まで14:40下校
- 20日(水)(祝)春分の日
- 21日(木)全校5限まで、14:40下校
給食最終日
- 22日(金)授賞式、修了式、新年度準備
1～3年下校11:05 4、5年下校11:45
※スクールソーシャルワーカー勤務日
3/5(火)、3/8(金)、3/12(火)10:00～12:00
相談を希望される方は、教頭までご連絡ください。

<4月の主な行事予定>

- 5日(金)始業式(給食なし)
- 8日(月)2～6年給食開始、中学校入学式
- 9日(火)入学式(給食なし)11:30下校
- 19日(金)学習参観、学校説明会、PTA総会、学級懇談会 午後
- 26日(金)遠足(1～4年)